



平成29年10月に発行を開始した本通信は、令和元年5月号より「広報 小田原」と連動し、教育委員会の取組を紹介しています！



- ・教育委員会って何をしているところ？
- ・「教育委員会」ってニュースでは聞くけど、どんなことをしているの
何をしているのかあまり知られていない「教育委員会」！
そこで！教育委員会各課の仕事について紹介していきます！
今回は、市立幼稚園をご紹介します。



市立幼稚園 (教育指導課)

小田原市の市立幼稚園・・・
小田原市には6園（酒匂・東富水・前羽・下中・矢作・報徳）あり、4歳児と5歳児が就園しています。

子どもは小田原の宝 一人一人のよさと可能性を伸ばします

学校教育のスタートは幼稚園から！幼稚園は子どもがはじめて出会う学校です。

幼稚園生活を楽しむ

～教師のあたたかさに支えられて～

幼児が安心してすごせるよう、教師は一人一人にあたたかく接しています。

教師のあたたかなまなざしのなかで、幼児はしだいに幼稚園生活になれていきます。



遊びにはいくつもの 学びががひそんでいる

～遊びは幼児期にふさわしい学び～

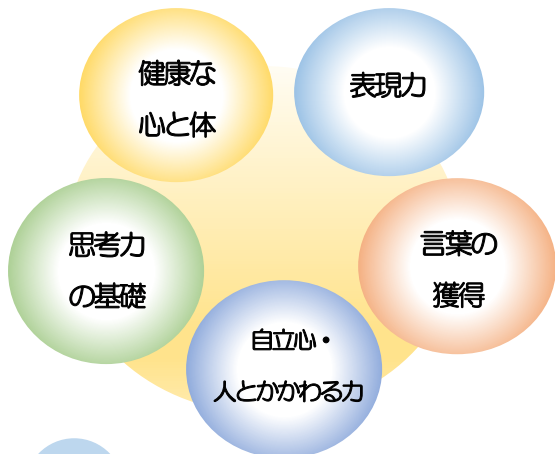
幼児期は、知識を教えられて身につけていく時期ではなく遊びながら学んでいく時期です。幼稚園で、幼児はひとつの遊びからさまざまなことを学んでいるのです。



幼稚園で身につける力

～遊びの中の学び～

遊びからたくさんの学びを身につけます。



～そして小学校へ～

小学校以降の生活や学習の基盤を育成します。

○学習意欲の向上

遊びから学ぶ楽しさを知り、積極的に物事にかかわろうとすることは、小学校での学習意欲へとつながります。

○小学校の学習の内容を実感しながら理解

幼稚園での体験が、小学校での学習内容の理解を深めます。

○豊かな心と健やかな体

他者への思いやりや感動する心、健やかな体を育成し、小学校へとつなげていきます。

ともに育つ、ともに育てる ～市立幼稚園の取組～

地域

市立幼稚園では、地域に開かれた幼稚園として、地域の方との交流や保護者、小中学校の児童生徒や教職員といった、多くの方々と関わり合いながら、子どもたちを育てています。

保護者

小・中学校

下中幼稚園(園児22人)

地域の特産品である“下中タマネギ”をはじめ、様々な野菜を地域のかたと一緒に育てています。今年度は、収穫した野菜を、老人施設へお届けしました。後日“オムライス”をごちそうしていただきました。



酒匂幼稚園(園児65人)

小学校と幼稚園の接続を図る幼小交流！そのうちの一つ。小学校の先生が幼稚園に来園し、小学校の様子を話してくれます。子どもたちは小学校1年生になった気分。就学への期待が高まります。



前羽幼稚園(園児16人)

小学校の児童が幼稚園に来てくれて、一緒に体づくり。1年生になることへの憧れや、学校生活への期待がふくらみます。



東富水幼稚園(園児56人)

保護者の有志が人形劇団を結成し、年2回公演会を開催し、子どもたちを招待してくれます。子どもたちのキラキラしたまなざしに、劇団の皆さんもキラキラと輝いています。



報徳幼稚園(園児47人)

地域の方と一緒に、藁から小さな俵をつくり、それを丸くつなげて土俵づくりをしています。「報徳冬場所」で相撲を楽しむ子どもたちを見て、地域の方のあたたかい声援が会場を包みます。



矢作幼稚園(園児78人)

保護者ボランティアによる絵本(紙芝居)の読み聞かせを月1回行っています。子どもたちが喜ぶ顔を思い浮かべながらの絵本選びも楽しそうです。わくわく・どきどきしながらおはなしの世界を楽しんでいます。

